

みんなで防ごう土砂災害 ～6月は土砂災害防止月間です～

【土砂災害防止月間】6月1日(日)～30日(月) 【がけ崩れ防災週間】6月1日(日)～7日(土)

近年、異常な集中豪雨により、土石流、がけ崩れなどの土砂災害が発生し、大きな被害が出ています。
土砂災害に対する備えや、避難場所などを再確認しましょう。

土石流

急な渓谷を、水を含んだ大量の土砂・礫が津波のように流れ下るもので、「山津波」とも呼ばれています。
流れの先端部に大きな礫があることが多く、その流れは時速 20 ～ 40 km にもなります。



がけ崩れ

雨で地面にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が急に崩れ落ちることで。また、崩れ落ちる速度も速く、地震が原因で起こることもあります。



地すべり

粘土質など、すべりやすい土質を境目に、その上部の地面が動き出してゆっくりすべり落ちることで。傾斜のゆるい斜面でも発生し、ゆっくりと継続的にすべることもあります。また、発生規模も広範囲にわたります。



～大阪防災アプリ～

「土砂災害警戒情報」や「避難情報」を選択した地域（市町村）ごとにプッシュ通知でお知らせ！マップ上で「土砂災害警戒区域」や「避難所」を確認できます。



～防災情報メール～

「土砂災害警戒情報」を選択した地域（市町村）ごとに携帯電話メールで配信しています！
「大雨・洪水警報などの気象情報」、「台風、地震・津波情報」、「災害時の避難指示」等の情報もメールで配信しています。空メールを送信し登録ください。



【問合せ】大阪府都市整備部 河川室河川環境課砂防グループ
☎ 06-6944-9302 内線 2956

備えよう!! ～明日くるかもしれない災害に～

【集中豪雨や局地的大雨について】 Vol.32

6月に入り梅雨の時期が始まると、同じような場所で数時間にわたり強く降り、100mm から数百 mm の雨量をもたらす集中豪雨や、急に強く降り、数十分の短時間に狭い範囲に数十 mm 程度の雨量をもたらす局地的大雨が発生します。毎年、こうした大雨により、河川の氾濫やため池等の急な増水、地盤の緩みによる浸水被害や土砂災害が発生し、人の命が奪われる事例が起きています。

「羽曳野市防災ハザードマップ」で浸水想定区域や避難所までのルートの確認をはじめ、気象情報の確認や「真っ黒な雲が近づいて急に暗くなる」「雷鳴が聞こえる」などの気象の変化への注意を行う習慣をつけるなど、大雨への備えをよろしくお願いします。

★地域の皆様による防災活動に対し補助する『羽曳野市自主防災組織活動補助金』制度を行っております。地域における防災活動の充実やこれからの地域防災を考えるきっかけづくりにお役立てください。

※補助金制度の詳細は市ウェブサイトに掲載しています。

問合せ：危機管理課（内線 2720）

羽曳野市防犯カメラ設置事業補助金

自治会等が防犯カメラを設置する際の費用の一部を、市で補助します。防犯カメラ設置にかかった費用の3分の2を補助します。ただし、補助金の上限は、カメラ1台につき20万円です。
また、同一年度における一つの自治会等での申請台数の上限は3台までです。詳細については、危機管理課までお問い合わせください。
※申請が多数の場合、抽選により交付団体を決定します。

★抽選参加申込期間

6月2日(月)～6月13日(金)【平日 9:00 ～ 17:30】
指定の抽選申込書に記入していただきます。

★抽選日

6月16日(月)10:00～

交付団体が決定した後、補助金交付申請を行っていただきます。

★申請期間

6月17日(火)～7月31日(木)

●対象となる経費は？

防犯カメラの設置に要する経費（カメラや記録装置購入の費用、支柱の設置費用、電気工事代等）※保守点検、修理、電気料金等の維持管理に要する経費は自治会等の負担となります。

●対象となる要件は？

- ①防犯カメラの撮影範囲は、主に道路等の公共の用に供する場所とし、マンション等共同住宅の内部、駐車場、事業所、工場の敷地内などを撮影している場合は対象となりません。
- ②防犯カメラの設置、管理又は運用に関し、「羽曳野市防犯カメラ設置基準」に適合する基準を定めていること。
- ③防犯カメラの設置に関し、他の補助金等の交付を受けていない、または受ける予定がないこと。

【問合せ】危機管理課

